



高虎姫高PTA通信

第134号

発行 滋賀県立虎姫高等学校PTA / 〒520-0112 滋賀県長浜市宮町2410 / TEL 0749-73-3010 <http://www.torahime-h.shiga-ed.jp>



水泳部



秋季大会は2年生が修学旅行のため、1年生12人だけの試合でした。試合慣れしていない状況なのでとても不安でした。しかし、互いに支え応援することでベストを尽くせこのような結果に繋がったと思います。これからもそれを大切にして練習や試合に挑みたいです。

1年 西島 功祐

女子ソフトテニス部



私たちは秋季総体でベスト16に入り、近畿大会への出場権を得ることができました。これは夏の暑い中の基礎練習を乗り越えた結果だと思います。実際にプレーするのは二人です。しかし、応援を力に変え、練習の成果を最大限に生かし、私たちらしいプレーをしたいです。

2年 野瀬 郁美

活躍した 部活動紹介 ～秋季総体～

演劇部は今回の県大会で3位という成績を収めました。1年生だけで一つの舞台を作りあげるのはとても大変でしたが、なんとかやり遂げることができました。今回はあと一歩のところで近畿大会出場を逃しましたが、来年の県大会では近畿大会出場を目指し、日々がんばっていきたいです。

1年 藤元 紗弥香



演劇部



男子ソフトテニス部

春季大会ではベスト8で近畿大会に出場しましたが、悔しい思いをしました。それから練習により一層打ち込み、さらにレベルアップして優勝という結果を残せました。応援して下さった皆様への感謝の気持ちを忘れず、近畿大会でも全力で戦い勝つべきです。

2年 森 正嗣

囲碁将棋部

1月の全国大会に出席することになりました。「戦術の幅を広げよう」と本を読み、インターネットで対局を積み重ねた努力が実って、うれしく思います。強豪揃いだと思いますが、何とか経験のない局面に持ちこんで、相手のミスを誘えるよう、がんばります。

2年 篠 大樹



卓球部



私は高校に入学してから卓球を始めたので、部長という言葉に大きなプレッシャーを感じていました。自分なんかに部長が務まるのだろうかと思いつぶれた日も少なくありません。近畿大会では、多くの方々の支えに感謝し、部長としての誇りを持って、全力を尽くそうと思います。

2年 山本 有紀子

平成25年度秋季総体等 結果

剣道部

男子団体
1回戦 虎姫 0-4 (引き分け)瀬田工業
男子個人 1回戦で敗退
女子団体
1回戦 虎姫 0-4 (引き分け)草津東
女子個人 1・2回戦で敗退

野球部

1回戦 虎姫 0-6 綾羽

水泳部

男子
100Mバタフライ
西島功祐(1-3)1分02秒54 3位
→表彰
200Mバタフライ
西島功祐(1-3)2分26秒04 2位
→表彰

アーチェリー部

男子団体
國友翔平 1209
森脇優介 1173
鈴木竹喜 1126 計3508 4位
女子団体
岸野彩花 1089
日比まりあ 902
西川祐加 829 計2820 3位

卓球部

男子団体
2回戦 虎姫 3-1 彦根翔陽
3回戦 虎姫 0-3 近江
女子団体
2回戦 虎姫 3-1 長浜北星
準々決勝 虎姫 1-3 滋賀学園
ベスト8 近畿大会出場

A・F部

1回戦 虎姫 13-28 八日市

サッカーチーム

1回戦 虎姫 0-7 瀬田工業
団体戦 1回戦 虎姫 3-0 長浜北
2回戦 虎姫 2-0 彦根翔陽
3回戦 虎姫 2-1 甲西
準決勝 虎姫 2-1 高島
決勝 虎姫 2-1 立命館守山
優勝 近畿インドア大会出場

テニス部男子

団体戦 1回戦 虎姫 2-0 石山
2回戦 本校 0-2 大津商
個人戦 片桐・野瀬組ベスト16
(近畿インドア大会出場)

バスケ部男子

1回戦 虎姫 87-96 野洲

バスケ部女子

2回戦 虎姫 49-60 河瀬

バレーボル男子

予選グループ戦 虎姫 2-0 彦根東
決勝トーナメント2回戦 虎姫 2-0 湖南農業
準々決勝 虎姫 1-2 瀬田工業
ベスト8

バレーボル女子

予選グループ戦 虎姫 0-2 綾羽
〃敗者戦 虎姫 2-0 國際情報
決勝トーナメント1回戦 虎姫 0-2 北大津

バドミントン部

男子団体 1回戦 虎姫 1-4 長浜北星
女子団体 1回戦 虎姫 1-4 光泉

陸上部

男子 走高跳 2年 南濃 健二
5位(1m81)

囲碁将棋部

滋賀県高文祭将棋部門 個人戦
新人戦1部
決勝 ○篠(虎姫)-×湯川(立命館守山)
篠大樹(2-5) 2年連続優勝
女子新人戦 リーグ戦 3勝1敗
村上祥代(2-3) 準優勝
篠 村上は平成26年1月30日より開催される全国高文連将棋新人大会に出場する。
近畿高文祭将棋部門(三重大会)
男子個人戦A級 篠大樹(2-5) 第3位
女子個人戦 村上祥代(2-3) ベスト8

科学探究部

第67回滋賀県児童生徒科学研究
発表大会 最優秀賞
「アントシアニンの色の変化に関する研究」

プラスチック部

掘浩治指揮 「PIRATES OF THE CARIBBEAN」

「税の作文」優秀賞 安田怜生



僕は国体選手に選ばれました。種目は400Mです。さらに、4×100Mリレーのメンバーにも入れました。滋賀のユニフォームを着て、滋賀のために走る。滋賀県選抜は、高校入学以来の僕の夢でした。

だから、選ばれた時本当にうれしかったし、今まで支えていただいた人たちに恩返しできるような走りをしようと心に決めました。

結果は、400M予選は47秒78の自己ベストで通過しましたが、準決勝でタイムを落とし、敗退しました。リレーの方も、アンカーで出場できましたが、バトンパスがうまくいかず、これも決勝進出はできませんでした。

国体までの間、国体が終わってからも、多くの方が声をかけていただき、励ましていただきました。本当に感謝しています。これからもこの感謝の気持ちを忘れず、次の国体では決勝の舞台に立ち、恩返しできるような選手になりたいと思っています。



国体に参加して

陸上部 3年 西村 順志



全国大会に参加して

将棋部 2年 村上 祥代

5月に全国大会出場が決ましたが、私にとって大会までの2ヶ月間は、苦しく、つらく、そして、大切なことに気がついた期間であった。毎日、兼部をしているテニス部の活動後に、家で将棋の勉強をするのは本当につらかった。どれほど勉強しても、棋力は上がらず、身体だけでなく、心までもが疲れ切っていた。

そんな時に支えてくれたのが、家族や友人、テニス部の仲間だった。厳しく優しく私を激励してくれた。たくさん的人に支えられている、大丈夫、そう思えるようになり、それからは、前向きに将棋に取り組めた。

迎えた全国大会は2勝2敗で予選落ちで、正直悔しさが残る結果だったが、自分一人で戦っているのではなく、みんなに支えられている

と気がついた。次の大会では、その方々の支えに応えるためにも棋力の向上に努め、みんなの支えがあるおかげで戦えるのだということを忘れない、上位進出を目指したい。



コアSSH

汚れのところでも落ちにくい墨汚れ。きれいに落とすには、どんな方法があるのかを研究してみようと思った。

墨汁は脚が保護コロイドとして働き、墨墨コロイドの鞋子が洗浄するのを防いでいる。

<コロイド粒子の特徴>

- ・電気を帯びている。
- ・凝析する。

現在の墨汁には脚の代わりに合成樹脂がつかわれている。

とじ方の候補

電気を用いて汚れを落とす。
墨の電荷を調べるために電気泳動を行ったところ、負の電荷があることがわかった。
墨がコロイドであるので凝析反応を利用して落とす。
高分子に吸着させて落とす。

墨を始める前の課題

洗浄液合計の比ペガシ 布をみる。洗浄液をみる。
汚染布の作り方 → 墨の濃度
洗浄の仕方

みなさんは、服に墨がついて取れなくて困ったという経験はありませんか。私たちコアSSHは、「身近な疑問を科学的に解明する」を合言葉に研究を進めています。今年のテーマは、「墨汁の墨の汚れを落とすには」です。墨にはコロイドという特徴があります。これを利用して、汚れを落とす方法がないか、日々実験を繰り返しているところです。興味を持ったことを、十分に時間をかけて追究していくことは、大変楽しくやりがいがあります。これからもメンバー全員と協力して、研究を進めていこうと思います。

11月16日には、膳所高校で中間発表を行いまし

た。来年2月には最終発表を行います。そして、3月には、イギリス研修に参加し、ケンブリッジ大学で、これまでの研究成果を英語で発表することになっています。他校の友だちとも協力し、メンバー全員で有意義な学習をしてみたいと思っています。





10月17日(木)、全校を対象に、SSH講演会を開催しました。講師は平和事務所所長の安斎育郎先生です。先生は、手品・スプーン曲げなど実際に見せてくださいり、科学的思考とはなにかを語ってくださいました。以下は生徒の感想です。

○科学的にきっちり物事を考えられる人、様々な物事を合理的に判断できすごい人だと思った。また、ただ科学的なものを全てと考えるのではなく、他人の事を考えらえる想像力が必要だというのは、新鮮な考え方だった。
 ○ヴァルンヘア・フォン・ブラウンは沢山の兵器を作ることに協力し、その兵器で多くの人が殺されても、彼の目的は「大きな口ケットをどれだけ遠くへ飛ばすか」という事だったという話が

心に残った。価値観は人によって様々だし、尊重しあうことが大切だと改めて思った。

○「人生の4つの大事」は自己実現のために必要だと思うので、覚えておきたい。自分は騙されないだろうと思っているけど、それこそ思い込みに過ぎないと思った。大学では、自分の生き方を得るためにいろんなことを学べると思うと楽しみでしようがない。早く大学生になりたい。



「世のため人のため」

校長 武友 建史

楽天イーグルスが優勝しました。そのニュースの中で、東日本大震災後の2011年4月29日、試合後に嶋選手が行ったスピーチが再び紹介されていました。震災後、地元に戻ってきた時にかけられた温かい出迎えの言葉を聞いて、何のために闘うのかがハッキリし、そして「誰かのために闘う人間は強い」ということがわかったと嶋選手は述べ、「東北の皆さん、絶対に乗り越えましょう。今、この時を。」というフレーズが続きます。



近年、人が努力して勉強するのは自己実現と自己利益の確保に向けて勝ち抜くためという人間観が支配的になり、他者や公共の福祉のために努力することが軽視されがちです。しかし、「学校で学ぶ」意味は、他者との関係を築きながら自己実現を目指すというところにあります。そして人間の才能は「自分だけのために」ではなく、「世のため人のため」に頑張ることで、より大きく花開きます。例えば、誰かに頼まれて頑張ったことを契機に、子どもたちが気づいていなかった自らの資質に気づき、人生が拓けていくこともあると思います。

虎姫高校のPTA活動は、わが子だけでなく、虎高生みんなのために献身的なご尽力をしてくださる会員の皆様によって支えられています。そんな大人の「後ろ姿」が持っている教育力をお互いに信じて、ますます元気な虎高PTAとなるよう願っております。

空調設備 設置について

副会長 茂森 勇人

平素はPTA活動に何かとお世話になりますありがとうございます。以下、本校空調機の設置に向けた動きのご報告と今後の予定についてお知らせとお願いを申し上げます。

近年、夏季の暑さが厳しいというえに、虎姫高校では、先年の耐震工事による窓の減少や電子黒板活用により夏場の教室内の暑さは耐えがたい状況となっていますが、県費による空調設備設置は行って頂けないことから、今年の夏前頃からPTAの自己負担により空調機設置をするべきかどうかという検討が始まりました。

その後、常任委員会にて設置に向けて動き出すことが決議され、空調設備設置検討委員会が設置され検討を進めてきました。臨時の常任委員会も随時開催し、去る10月5日の臨時総会において皆様より設置の決議を頂き、平成26年の稼働に向か、現在はプロポーザル方式により業者を選定を進めています。

予定では年内に業者を選定し、更に細かな詰めの協議を行い、県の教育委員会から設置許可を頂いてから3月頃に契約締結の予定をしています。

13年リースという事で、今後長期に渡り在校生には空調機の費用のご負担をして頂かなければなりませんが、この決定が子どもたちの将来に大きく資するものである事を確信しております。

引き続き皆様のご協力をお願いいたします。



『ようこそ先輩』 8月28日(水) 虎姫文化ホールにて

1年生を対象にパネルディスカッション『ようこそ先輩』が開かれました。様々な分野で活躍なさっている先輩を招き、「仕事ややりがい」「自分の生きた」などをテーマにパネルディスカッションのかたちで語り合っていただく、本校伝統の行事です。



■パネリスト



原 祐子 氏
(虎高34回卒)
奈良フィル
主席フルート奏者



弓削 一幸 氏
(虎高37回卒)
「黒壁スクエア」社長
経営コンサルタント会社経営



高田 豊文 氏
(虎高38回卒)
滋賀県立大学
環境科学部 准教授

■コーディネーター

藤居 敏 氏 (本校 PTA会長)



生徒の感想

- 自分が将来何をするかはまだわからないし、どういう仕事に就くのかも全然わからないけれども、まずは、目の前のことから一生懸命に取り組んでいこうと思いました。そうした中で将来は見えてくるんだと思いました。
- 仕事は高校生のときに決めなければというプレッシャーが今までありました。でも今回先輩方の話を聞いて、今までの生活の延長上であったり、自分でも考えていなかった仕事に就いたりと、人生はそんなに焦って決めてはいけないし、思いかけない出会いも大切にしなければ、と思いました。
- 今日は本当にいろんなことを教えて下さってありがとうございました。同じ高校の先輩が社会でがんばっておられるのをみると、自分の勉強に対する思いや将来に対する考え方方が変わり、より一層自分は勉強するべきだと思いました。また、大学時代のおもしろい話や社会へ出てうれしかったこと・つらかったことを聞いて大変有意義な時間を過ごすことができありがとうございました。いろいろ考えさせられました。
- 自分の将来を考える上でとても参考になりました。僕は別にこのままでいいやと思っていたから、後悔するところでした。今の自分を見つめ直すいい機会でした。自分の生活習慣から変えていきたいと思いました。ありがとうございました。

『究理Ⅰ』 SSH FW フィールドワーク 11月15日(金)



授業『究理Ⅰ』では、テーマに従って、研究班ごとに県内外の研究関連施設等を訪問しました。

生徒の感想

- 今回のフィールドワークは、専門的な意見や情報が聞けてとても勉強になりました。教授もすごくよい人で、緊張も和らげてくれました。また、一つ一つ丁寧に質問に答えてくださっただけでなく、教授の専門分野でないことも、私たちのテーマに沿った内容を調べてくださいました。科学は色んな専門的なことが合わさって解明できるのだなと改めて思いました。インターネットで何でも調べができる環境にいるので、逆に今回大学などの研究室に行って調べることはとても貴重な体験でした。直接だと、自分では調べられない詳しい話がじかに聞けて、科学の視野が少し広がったような気がしました。楽しかったです。





修学旅行

北海道といえば、多くの自然、きれいな夜景、おいしい食べ物と、修学旅行が始まる前から期待に胸を膨らませていました。

二日目の体験学習では雨で屋内活動となり、箸と鉛筆を作ることになりました。聞いたときは少し残念でしたが、やり始めると時間を忘れて木の棒を削り続けました。

実行委員長2年 岩田 大知

三日目の班別自主研修では、長い時間を友達と一緒に過ごし、楽しい時間を共にしたのと、以前よりも仲良くなれた気がしました。

よい修学旅行となり、最高の思い出になりました。多方の思い出になりました。多方から支えて下さった皆さんのおかげで無事に終えることができましたありがとうございました。



★1日目★
新千歳空港到着後、貸し切りバスにて北海道開拓の村見学。
キロロリゾートホテルビアノ泊。

★2日目★
午前中、選択別自然体験学習。
午後、クラス別活動。キロロリゾートホテルビアノ泊。

★3日目★
小樽～札幌班別自主研修 ニューオータニイン札幌泊。

★4日目★
宿舎出発後 ***、その後、新千歳空港へ移動。帰途へ。



『究理II』の取り組み 2年 日名子 結衣



「細胞性粘菌」とは、私が究理IIの研究でテーマとしている生物です。細胞性粘菌は、アメーバ状であったり、子実体というものを形成したりと、体を変形させ、土の上で生活する面白い生物です。私たちの班では、その分布について研究を進めています。11月には中間発表会がおこなわれ、自分たちの研究について大学の方など様々な人から意見を聞く良い機会となりました。また、他の班の発表を聞くことも楽しく、参考になったと思います。現在は、実験を進めると同時にこれまでの研究をまとめ、英語に翻訳するという作業に入っています。難しく感じる作業もありますが、自分の興味のあることを研究することはとても楽しいと感じています。

方法

【見た細胞性粘菌の分類基準】

- I: ダマホコリカビ属(属名: *Dictostelium*)
 ①ムラサキダマホコリカビ以外のダマホコリカビ
 ②ムラサキダマホコリカビ
- II: カビモドキ属(属名: *Physaromyces*)
 ①ムラサキカビモドキ以外のカビモドキ
 ②ムラサキカビモドキ

※I: 2と7色を基準に分類したため、②を区別した。





受験まっしぐら

3年 清水 太基



8月に野球部を引退し、今は受験勉強の日々を送っています。私はこの「受験勉強」を単にテストや模試の点数を上げるためのものではなく、この苦しみや失敗に立ち向かうことで人間的に成長させてくれ、なりたい自分に近づけさせてくれるものだと考えています。そう考えると自分の心の中に、ふつふつとやる気が湧いてきます。

また野球部主将としてチームを引っ張ったことも勉強する上でプラスに働いていると思います。我慢し、継続してやり続けることにおいては野球も勉強も同じだからです。野球を3年間続けてきたからこそ、今集中して勉強に取り組めています。

虎姫高校にはお互いに切磋琢磨できる仲間と、すばらしい先生方がおられます。その方々に感謝し、いつも支えてもらっている家族に感謝しながら、この手で自分の未来を切り拓いていこうと思います。

3年 中居 可奈子



私はバスケ部を引退して、すぐに勉強に切りかえられたと思います。塾で勉強することが多く、周りに友達がいたので、夏休みにけっこう楽しく勉強できました。2学期になってからは、成績がなかなか伸びず悩んでいたとき、学校の先生や周りの人が相談にのってくださって、私はすごく支えられているんだなと感じました。この支えがあるから今も頑張れているんだと思います。

私が勉強するときに心がけていることは、「生活のリズムを崩さない」とこと、「わからないことは積極的に質問する」ことです。特に生活のリズムは、一度崩すと元に戻すのに時間がかかるので大切だと思います。

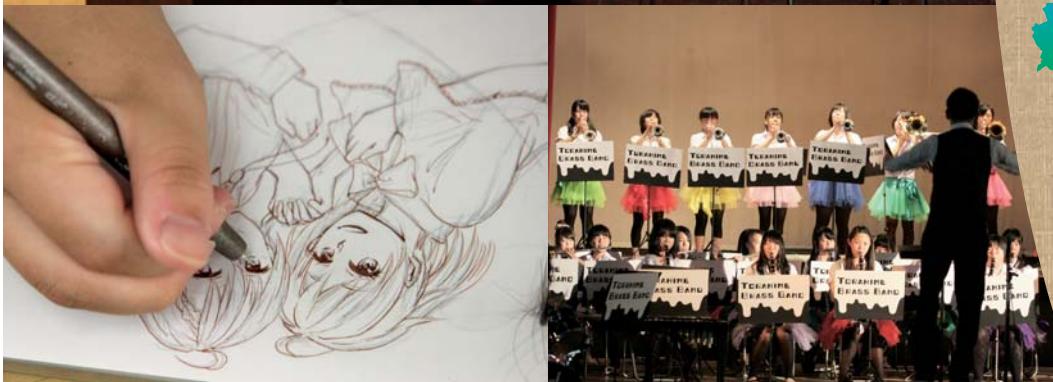
部活で経験した苦しさと達成感を糧にして、受験でも目標を達成できるように頑張ります。



7/10(水)・11(木)

クリエイティブの部

	最優秀賞	優秀賞
1年音楽フェスタ	1年3組	1年2組
2年クラス企画	2年3組	2年4組
3年 クラス劇	3年4組	3年1組



冬

13

7/12(金)

スポーツの部

	第1位	第2位	第3位
クラス対抗リレー	3年1組	2年3組	3年2組
応援合戦	3年4組	3年5組	3年3組
総合競技の部	3年1組	3年4組	3年2組 3年3組



金沢大学

8月20日(火)21日(水) 1泊2日

参加人数 72名

『地域創造』『法』『国際』『人文』『学校教育』『経済』の6学類を受講

生徒の感想

○金沢、しかも一泊二日。すごいことだと思う。法学類では現役の学生の方々と直接評議をし、自分の意見をちゃんと説得力を持つて言うことの難しさ、他の人の意見を理解することの大切さなどを学んだ。人文学類では、短い時間だったが心理学の様々な分野の事を分かりやすく話していただき、心理学への興味、関心が高まった。充実した二日間。連携講座に参加できて良かった。

○最初は、大学の講座だから内容はとても高度で、きっと自分はついていけないんだろうと思い、恐かった。が、確かに内容は高度だが、それを日常会話レベルの説明で、非常に分かりやすく教えてもらったおかげで理解することができた。分からぬところを質問すると、親身になって教えていただいた。授業の雰囲気もとても良く、高校での「やらされている」授業では絶対に得られない楽しさがあった。模擬裁判で被告人の役をやらせてもらったのだが、実際に演じてみると少しだけ心情も分かった気がして、シナリオを見るだけでは有罪無罪なんて決められないと思った。様々なことを二日間で一気に経験できて、とても充実した二日間だった。本当に金沢大学の皆さんには感謝しています。ありがとうございました。



滋賀県立大学

8月22日(木)23日(金)

参加人数 物理分野 29名、化学分野 21名

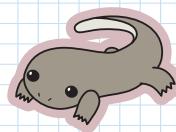
生物分野 14名、計 64名

生徒の感想

○物理が苦手あまりテストでも点数が取れないが、高大連携で物理学の楽しさに触れることができた。これからもっと勉強して、志望校へ行きたいという気持ちが湧いてきた。(物理)

○1日目のナノについては、想像できないぐらいの小ささで難しかったが、2日目のペットボトルは身近なものでとても興味が持てた。充実した2日間だった。(化学)

○大腸菌を使った実験で、今までの授業で学んだDNAの組み替え作業のやり方を実際にやってみることができ楽しかったし、自分で組み替えに成功でき、うれしかった。(生物)



マーナー

携講座

滋賀医科大学

8月20日(火)21日(水)

参加人数 医学コース 17名、看護コース 17名

生徒の感想

- 心臓を使って、その機能を勉強するといった学習で、ラットの心臓を取り出して行ったので、単なる勉強だけでなく、命の大切さも分かつてよかったです。(医学)
- 1日目の講座では、ガンが単に悪いものだということではなく、進化にとって必要な物だということなど、今まで知らなかつたことがたくさん分かつた。(医学)
- 話は難しかったが、深い話が聞けてさらに興味が持てた。いろんな視点から医療と看護の実際を見ることができた。(看護)



大阪大学大学院

7月31日(水)~8月1日(木) 1泊2日

参加人数 20名 (物理分野)

生徒の感想

- 夜中にグループで、物理の話をずっとしているのはすごく新鮮で楽しかった。
- 1日目の実験は難しそうで、できるか不安だったが、やっているうちに慣れてきてスムーズにできるようになつたし、すごく楽しかった。2日目の発表は頑張った。産研では、とても高価な機械を身近に見られて、しかも触れられてよかったです。2日間たくさん学べた。
- 実験は難しい内容だったが、班員と協力しやり遂げることができた。大変だったが、自分たちの意見をしっかりまとめられてよかったです。問題点も多く見つかった。



9月27日(金) 1・2年全員 サマーセミナーで得た成果を、参加生徒が発表しました。

感想

- 難しい言葉には説明があり、現地で学んだことを分かりやすく伝える工夫があつてうれしかった。
- 理系の発表は難しかつたが、とても興味が持てた。文系は進路選択のよい機会となつた。今後も高大連携が続くよといつた。
- 動画が流れたり、旅に出たりと、とても面白い発表だった。理系は実験を詳しくまとめて、しかもよく分かるように工夫されていて、すごいと思った。文系はどんなことをしたか、とてもワクワクしながら聞いていた。
- 自分たち以外の班が何を得てきたのか、知ることができるよい機会だと思った。



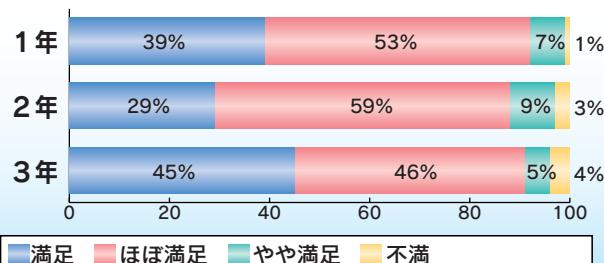
「生徒の生活と学習に関するアンケート」結果

(平成25年10月18日実施)

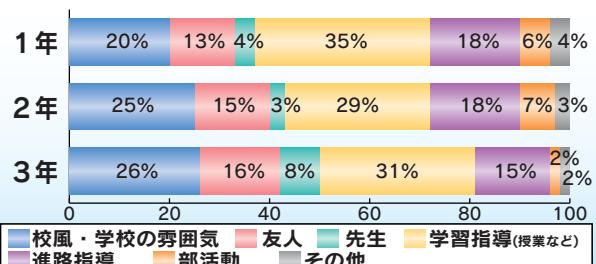
毎日の生活全般について



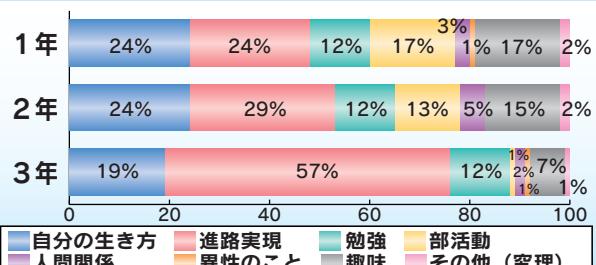
1 あなたは、本校での高校生活に満足していますか。



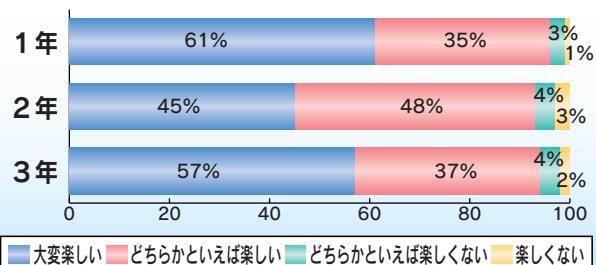
2 あなたは、本校の教育の中で何に最も期待していますか。



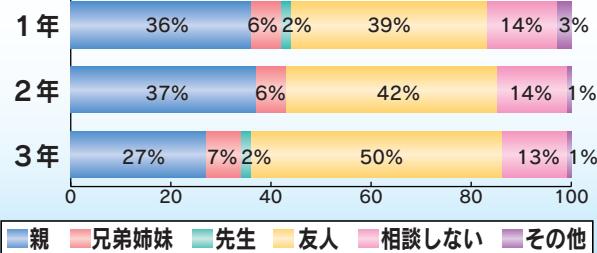
3 あなたが今最も関心を抱いていることは何ですか。



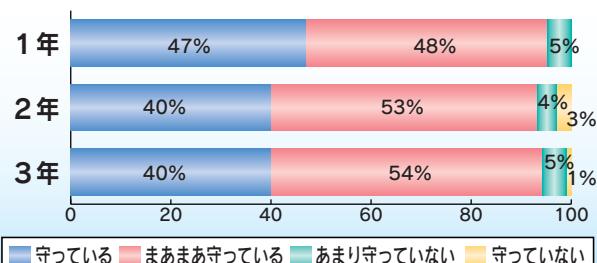
4 あなたのHR(クラス)は楽しく充実していますか。



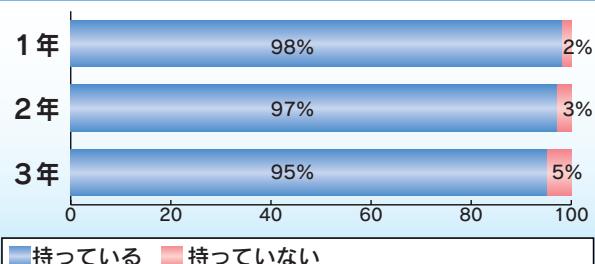
5 あなたは、悩みや心配ごとを相談するときだれに一番に相談しますか。



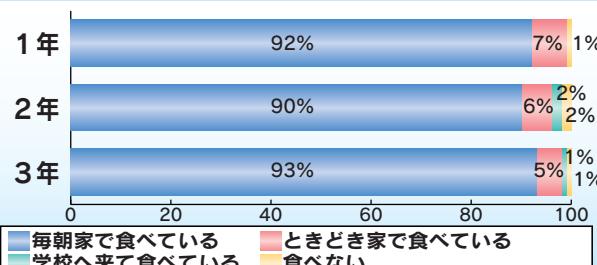
6 あなたは、本校の校則についてどのようにしていますか。



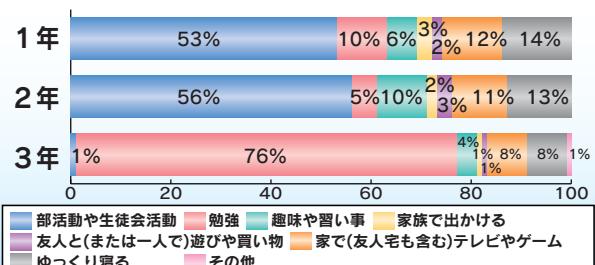
7 あなたは、携帯電話、スマートフォンをもっていますか。



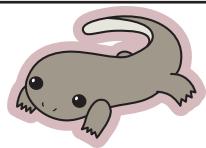
8 あなたは毎朝、朝食を食べていますか。



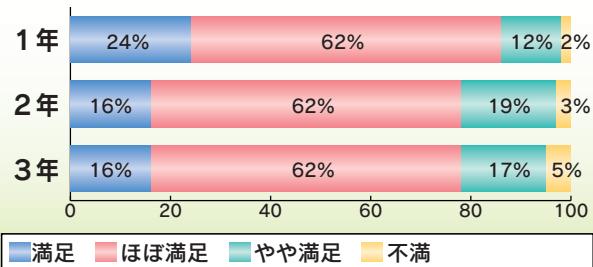
9 あなたの休日の過ごし方として最も多いものをあげてください。



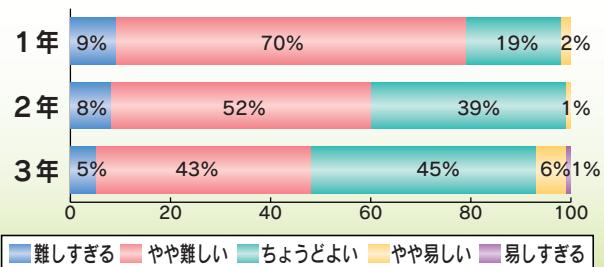
このアンケートは、40項目に及びますが、以下16項目のみ抜粋して紹介します。



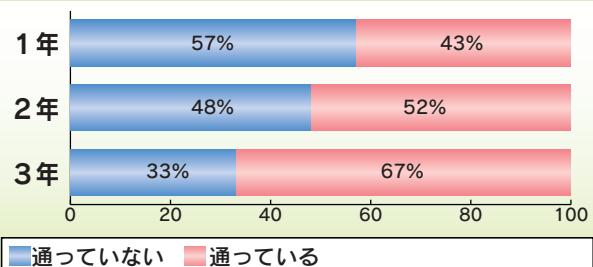
10 あなたは、学校での授業全般について満足を感じていますか。



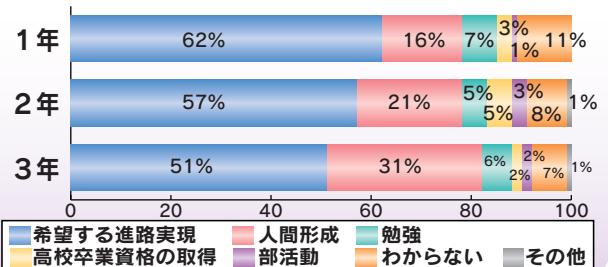
11 あなたは、学校での授業全般について難易度をどのように感じていますか。



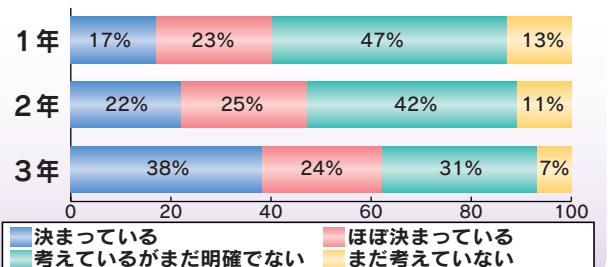
12 あなたは、学習塾や予備校に通っていますか。



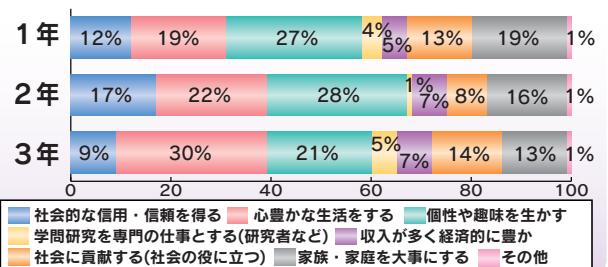
14 あなたは、高校生活の意義をどのように考えていますか。



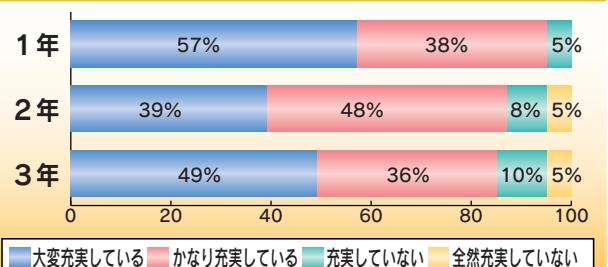
15 あなたは、将来就きたい職業が具体的に自分で決まっていますか。



16 あなたは、将来どんな生き方を望んでいますか。



13 あなたの所属する部活動は充実していますか。





「夢から志へ」～たくましく生きるチカラを育む為に、今、私たちができること～

PTA役員 遠藤 加代

去る8月21日より二日間、第63回全国高等学校PTA連合会大会が山口県で開催され、虎姫高校PTAより、8名が参加させていただきました。

開催地の山口県には全国から約一万人ものPTA関係者が集い、メイン会場の山口県スポーツ文化アリーナを中心に他5会場で終日熱い講義が繰り広げられました。メイン会場の開会式前のアトラクションでは、地元萩市立明倫小学校の生徒による朗唱がなされ、私は最初からとても圧倒されました。

山口県は初代総理大臣の伊藤博文をはじめ現在まで、全国最多の8人の総理大臣が出ており、維新の先覚者である吉田松陰ゆかりの土地でもあります。地元の生徒たちは、小学校に入学して間もない頃から、松陰語録の朗唱を目課とし、卒業するまでに17全てを暗記すると言います。一年生に「学は人たる所以を学なり」(学問とは人間がいかにあるべきか、いかに生きるかを学ぶことである)を意味もわからないまま朗唱し、毎日声に出て言うことにより、だんだん意味がわかり、大人になってからふと思いつくそうです。そして「志を立てて以って万事の源となす」(何事も志がなければならない。志を立てることが全ての源となる)は大変心に残った言葉となりました。

開会式では全国高等学校PTA連合会会長の、将来を展望する事が難しい時代だからこそ、私たち大人が未来に

向かっていく道筋をしっかりと支援して生きましょうというお言葉に、身が引き締まりました。

そして表彰式では、前滋賀県PTA連合会会長(本年度本校教育振興会会長)の押谷喜美子さん(上の写真、左から4人目)がその功績を認められ表彰をお受けになりましたので、ここでご報告させていただきます。

午後の講演は、大河ドラマ「龍馬伝」や「ガリレオ」で注目の脚本家、福田靖氏のお話を聞かせていただきました。福田氏は大学を中退された後、夢を追うこと(劇の脚本を書くこと)を一生懸命に劇団主宰をされていましたが、途中自分を活かすこと(ドラマの脚本を書くこと)に方向転換し、今に至ったそうです。話は波乱万丈の大変興味深いもので、目の前にあることに一生懸命取り組む事で道は開けて行くと言われたことが印象的でした。

この二日間大変貴重な経験をさせていただき本当に感謝しています。ありがとうございます。

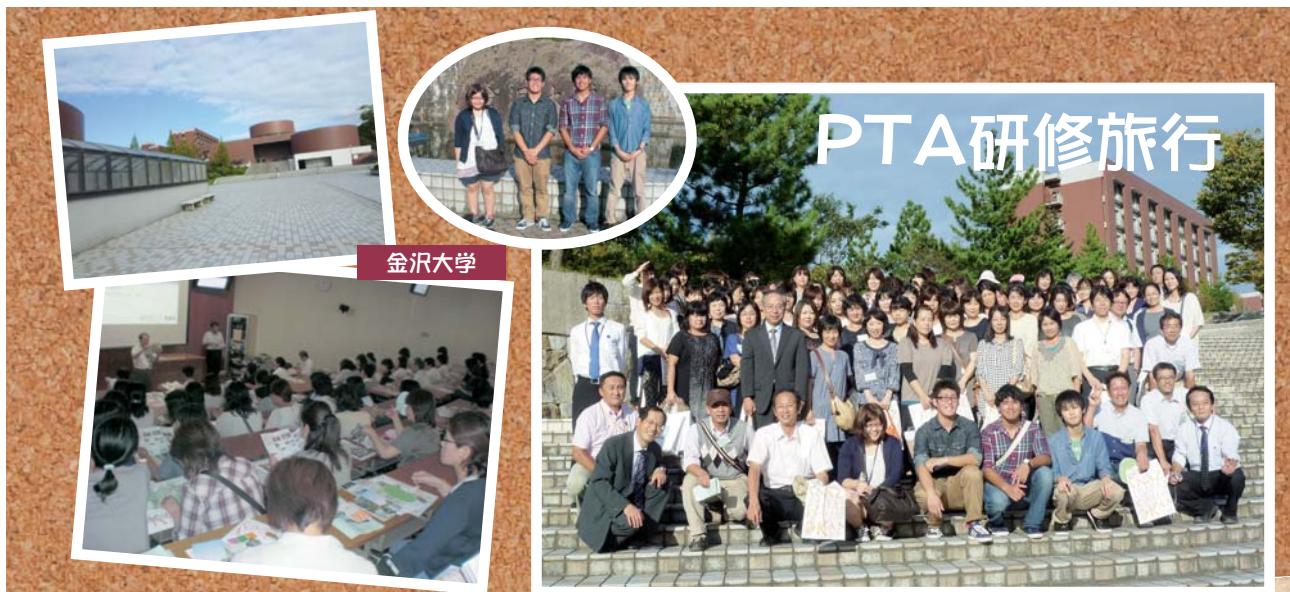
最後に、研究会の講演のお言葉をお借りして、便利な世の中になった引き替えに、子どもたちは、人間同士の結びつきが非常に希薄化した支えの乏しい状況に置かれています。そこに社会の悪影響が重なって様々な問題に巻き込まれています。今後のPTAの諸活動を活用してコミュニケーションを深め、親として今できることを一緒に話しましょう。

おやともの会

本年度で第3回となる「おやともの会」が開催されました。参加者45名。河合塾の大林先生のお話の後、4つのグループに分かれ、ケーキと飲み物を囲んで、和やかに親同士の親睦が深められました。以下、参加者の感想です。

- その都度こういうPTAの場に寄せていただいたて皆さまと交流させて勉強になりました。塾の先生のお話もよく分かり、その後のディスカッションにも先生が来ていただいて、改めて質問をさせてもらえ、気楽なムードで乐しかったです。参加させていただいてよかったです。
- 本当にありがとうございました。子どもがつながっていく、親もつながっていく場、雰囲気、環境を大切にしていければと、強く感じました。このような話し合いの場を作っていただき、ありがとうございました。
- このような会を企画していただき、ありがとうございました。参加するまでは少し不安でしたが、参加して、参加されている方々の悩みや助言を聞かせていただき、参考になったとともに、少し不安が解消された気がします。おやともの会の皆さまは、皆、知的にも人間的にも素晴らしい方が多く、学校での生活も落ち込んでいるようで、安心して送り出せます。ケーキがおいしかったです。





PTA研修旅行に参加して 上田 康子

上田 康子

心配していた季節外れの台風も無事通りすぎ、10月10日の研修旅行は晴天に恵まれ、さわやかなよい天気となりました。朝早くに虎姫高校に集合した総勢80名は2台のバスに分乗し、金沢に向けて出発しました。金沢に向かう車中では、クイズや映像を通して、普段の高校生活の様子を各学年主任の先生方より、楽しく教えていただきました。

金沢市は加賀百万石を偲ばせる古い街並みと近代的な建物が見事に調和した美しい古都として有名です。名勝兼六園では短い時間でしたが、美しい庭園を散策し、金沢市街

を一望することができました。今回は何度もかの訪問でしたが、美しい景色の中で心癒される時間を過ごすことができました。

お昼は金沢駅近くの「ホテル日航金沢」でバイキング形式のランチをいただきました。加賀野菜やお肉、パスタ、豊富なスイーツやパンなど、どれもとてもおいしく大満足でした。

昼食後はいいよ目的の金沢大学へ向かいました。以前は市内の金沢城址の中についたそうですが、現在はそのほとんどが東京ドーム約75個分

という広大な角間キャンパスに移転しました。また、平成20年度より学部という形式から、人間社会学域、理工学域、医学保健学域の3学域、16学類という分類となり、より幅広い視点から研究が進められ、入学後に細かく選択できる方式となつたそうです。

森雅秀教授の模擬授業では、チベット密教や関連する文化遺産の研究など、世界を舞台として取り組んでおられる様子についてお話を伺いました。また、虎姫高校卒業生の方々からお聞きした大学受験に向けた学習の取り組み方などもたいへん参考となりました。

今回のPTA研修旅行に参加し、実際に自分の目で確かめ、体験することがとても大切だということを改めて感じました。親として子どもの成長を願い、これからも適切なアドバイスができるよう心がけたいと思います。また、他の保護者の方々とも交流を深めることができました。このような研修旅行を企画、運営していただいたPTA役員の皆さまと先生方に心から感謝します。本当にありがとうございました。



虎高PTA通信

第134号 平成25年12月16日発行



編集後記

「ならぬことはならぬものです」…今年の大河ドラマで話題になった会津藩校日新館『什の掟』の教えです。「ねらぬことはならぬ」とは“してはいけないことは、してはいけない”という意味の他に、“しなければならないことは、しなければならない”とも言われます。3年生は間近に控えた目標に向かって、1.2年生は未来の夢に向かって、「ならぬことはならぬ」の精神で頑張り続けてください。“努力は人を裏切らず”と信じて…。最後までお読みいただいた皆様、編集に携わった役員の皆様、ご協力くださった先生方、本当にありがとうございました。ゆく年もく年も、皆様にたくさんの福がおとずれますように。

佐久間 記